

〈平成22年度キャリア教育実践セミナーについて(報告)〉

平成22年度第2回キャリア教育推進会議

キャリア教育実践セミナー について

山口県教育委員会

1

第1回キャリア教育推進会議より(1)

- キャリア教育は家庭とのあり方、家庭との関係が切っても切れないのではないか。小中高それぞれにおいてキャリア育成のプログラムが作られ、努力されているが、そのことが家庭との関係でどれだけうまく連携がとられているのか。
あるいは、家庭の方でもそういったことを日々の生活の中で子どもたちに教えられているのか、そこに少し問題はないだろうかと思った。
生活をする中の子どもの生きる力を育むために私たち大人も工夫しないと小中高の中で在り方や生き方を考える教育につながらないのではないか。大人の方の工夫や知恵が必要なのではないか。

2

第1回キャリア教育推進会議より(2)

- これまでの教育に加えキャリア教育という新しい教育が入ってきて、地域社会全体の中で若者たちを育てる時期にきているのではないか。
教育とは教えることと育てること、特に意識をつける、気持ちをもつ、夢をもつ、頑張ろうと思うことが大切である。また、気持ちをもつことだけでなく社会を知る等の活動が大切になってくるのではないか。
教育の中では、「教」も「育」も非常に大切であり、より良いキャリア教育を山口から実践できればと考えている。

3

キャリア教育実践セミナーの目的

- 発達段階に応じた系統的・計画的なキャリア教育の推進を図る。
- 今後のキャリア教育の推進について、学校、家庭・地域、産業界等がともに協議し、連携の強化を図る。

4

日時・会場・参加者数(西部)

- ・日時:8月4日(水) 10:00~16:30
- ・会場:下関市 川中公民館本館
- ・参加者数
教員等:小学校 47人、中学校 23人、
高校・特別支援学校 35人、
市町教育委員会指導主事等 15人
産業界関係者等:6人
保護者:19人 **西部合計:145人**

5

日時・会場・参加者数(東部)

- ・日時:8月6日(金) 10:00~16:30
- ・会場:岩国市 周東パストラルホール
- ・参加者数
教員等:小学校 68人、中学校 46人、
高校・特別支援学校 37人、
市町教育委員会指導主事等 17人
産業界関係者等:5人
保護者:31人 **東部合計:204人**
西部・東部参加者総数:349人

6

内 容

- 午前の部(教員対象)
 - ・所管説明 <10:05~10:45>
 - ・校種別協議(小・中・高等学校等別) <11:00~12:00>
- 午後の部(教員、保護者、産業界関係者等対象)
 - ・実践発表(小・中・高各1校) <13:10~14:10>
 - ・パネルディスカッション <14:10~15:10>
 - ・グループ協議 <15:25~16:25>

7

所管説明<10:05~10:45>

県教委担当者の説明

内容「キャリア教育の推進」

- ・キャリア教育が求められる背景
- ・キャリア教育の国の動向
- ・本県のキャリア教育について
- ・教育活動全体を通じての取組



8

校種別協議<11:00~12:00>

- ・協議題
「各学校におけるキャリア教育への取組について」
- ・同じ校種(特別支援学校を含む)の教員
1グループ 8人~10人で協議
- ・西部
小学校 6、中学校 3、高校 4 計 13グループ
- ・東部
小学校 8、中学校 6、高校 4 計 18グループ
- 【内 容】
- ・各校での取組の資料交換
- ・キャリア教育についての情報交換、意見交換

9

校種別協議



10

校種別協議から(小学校)

【全体を通して】

- ・各教科とキャリア教育との関連付けを図り、全教育活動でキャリア教育を実践している。日常の授業との関連を深化させることが大切である。

【具体的な活動例】

- ・地域へ出たり、働く人とふれあったりする学習
- ・ものづくりや栽培などの体験活動(農作業や竹細工など)
- ・地域との交流(製作りの体験、牛を育てる農家との交流、ホテルを生かした町作りなど)
- ・学校OB、地元の起業家などゲストティーチャーを招いての講話

【課題・今後に向けて】

- ・各学校の実態に合わせて目標を設定し、教員がきちんと視点をもって指導することが大切である。

11

校種別協議から(中学校)

【全体を通して】

- ・推進委員会を設置し、全体計画を作成し、実践している。学年や分掌ごとに反省・評価を実施している。

【具体的な活動例】

- ・1年 職業調べ、職業講話、身近な人へのインタビュー
将来の希望、自分を知る活動等
- ・2年 職場体験学習、職場体験学習発表会、立志式、グループの絆を深めるフレンドシップセミナー等
- ・3年 将来設計の学習、キャリアカウンセリング、進学説明会等

【課題・今後に向けて】

- ・子どもたちに大人の仕事が見えない世の中になっているのではないか。だからこそキャリア教育への取組が大切である。

12

校種別協議から(高校)

【全体を通して】

- ・キャリア教育の推進方法は、進路部がイニシアティブをとり、学校全体で取り組んでいる学校が多い。

【具体的な活動例】

- ・インターンシップは、2年次に3日間各事業所で行っている。インターンシップ終了後は、まずクラス内で発表会を行い、その後、近隣の学校と3校合同で全体発表会を行う予定である。
- ・「キャリアセミナー」を実施し、ハローワークの方の講演やパネルディスカッションなどを行っている。
- ・毎年卒業生を6名招いて、「ようこそ先輩」を継続している。

【課題・今後に向けて】

- ・生徒のコミュニケーション能力の向上が課題である。
- ・インターンシップ等の取組をどう継続的に生かしていくか。

13

実践発表(小・中・高各1校)西部 ＜13:10～14:10、各校20分の発表＞

●実践発表校

宇部市立上宇部小学校

「夢に向かって

～ゲストティーチャーに学ぼう～」

萩市立萩東中学校

「夢と知恵を育み、『自分探しの旅』
を扶ける生き方支援」

山口県立宇部西高等学校

「高等学校におけるキャリア教育の
在り方に関する調査研究のまとめ」



14

実践発表(小・中・高各1校)東部 ＜13:10～14:10、各校20分の発表＞

●実践発表校

柳井市立柳井小学校

「夢や目標をもち、共に高まり
合う児童の育成」

山口市立鴻南中学校

「夢プロジェクトⅣ」について

山口県立岩国総合高等学校

「見つけよう夢 見つけよう未
来」



15

パネルディスカッション＜14:10～15:10＞

・テーマ

「学校と家庭・地域・産業界等との連携協力にむけて」

・コーディネーター…有識者(1)

パネリスト…産業界関係者(2)、PTA関係者(1)、
学校関係者(1)

【アンケートより】

- ・教師以外の立場の人の話が聞けて、目から鱗が落ちることが多々あった。
- ・企業の求める人材、職場体験学習で学校に望むことなどの話も聞けてよかった。様々な立場での貴重な意見が聞けてよかった。

16

パネルディスカッション



17

パネルディスカッションから(西部)

○まとめ

それぞれの立場で、子どもたちを育てるとい
う論点で取り組んではいるものの、うまく噛み
合っていない現状があるのではないかと。

そのような現状を解きほぐすために、本日
のような協議・議論の場をいくつも作っていくこ
とが肝要である。

子どもたちのことを中心に考え、保護者や地
域、学校の教員も入り議論する場がキャリア
教育を進める連携の要となる。

18

パネルディスカッションから(東部)

○まとめ

近年「キャリア教育」という言葉が学校に入ってきたものの、まだ発展途上である。

より良いものにしていくために、大いに知恵を絞る必要があり、学校の教員だけではなく、保護者や産業界の方々の参画を得て、また、小・中・高等学校・大学という学校種別を越えて取り組むことが大切である。

よりよいキャリア教育をこの山口県から発信していきたい。

19

グループ協議<15:25~16:25>

・協議題

「学校と家庭・地域・産業界等との連携協力にむけて」

・小・中・高・特別支援学校の教員及びPTAや産業界の方
1グループ 10人~12人で協議

・西部 計 13グループ 東部 計 18グループ

【内容】

- ・各校の連携(学校間、家庭・地域・産業界等)の取組、成果、課題
- ・学校、家庭、産業界それぞれの立場からの要望など

20

グループ協議



21

グループ協議から

【学校】

・仕事をしている人の姿をしっかりと見せていく。地元の良さを見せていく。様々な大人の人の生き方を見せていくことが必要である。

【保護者】

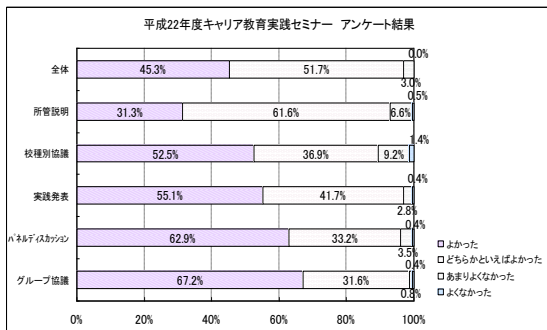
・夢イコール仕事、職業につくことではない、ということに共感した。子どもたちにあらゆる経験を積ませてやるのがキャリア教育なのではないか。機会あるごとに、地域の人と触れ合わせるようにしている。

【産業界】

・大人は、楽しく生き生きと仕事をするのが大切。苦しいと思うことでも「楽しい」にしていく。

22

アンケートまとめ(1)



23

アンケートまとめ(2)

【学校】

・異校種やPTA、産業界の方々からの御意見を聞くことができて、大変参考になった。このような会に担当者だけでなく、他の先生方にも参加していただき、キャリア教育についてのこれからの指導や進め方を共通理解できるという認識がもてた。

【保護者】

・キャリア教育というと進路学習、働くとは、というイメージがあったが、どう生きていくのかという幅広いものであるという認識がもてた。

【産業界】

・「夢」とは職業だけではない。何をなすべきか考える。そのための手段として職業の位置付けが大事。「公」を意識する社会人を学校、家庭、職場で育てましょう。

24

キャリア教育実践セミナー について

御清聴ありがとう
ございました。

25